

令和4年5月27日
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

民間競争入札実施事業
「安全評価に係る技術支援業務」の実施状況について

I. 事業の概要

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）の安全評価に係る技術支援業務（以下「本業務」という。）については、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）」に基づき、公共サービス改革基本方針に従って民間競争入札を行い、令和2年度から以下の内容にて業務を実施している。

1. 委託業務内容

本業務は、JAXAが研究開発業務における安全確保のために行う活動に対して、安全要求等の作成・維持支援、再突入リスク評価の技術支援といった、職員の業務の支援を行うものである。

2. 業務委託期間

令和2年4月1日から令和5年3月31日(3年)

3. 受託事業者

有人宇宙システム株式会社

4. 実施状況評価期間

令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間

5. 受託事業者決定の経緯

「安全評価に係る技術支援業務」における民間競争入札実施要項に基づき、入札参加者（1者）から提出された提案書について、実施要項に定める技術評価専門部会(令和2年3月10日開催)において審査した結果、評価基準を満たしていた。なお、入札説明会参加者数は1者、仕様書等受領者数は2者であった。

入札価格については、令和2年3月13日に開札した結果、予定価格の範囲内での応札であり、総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

II. 確保すべき質の達成状況及び評価

民間競争入札実施要項 2. (5) において定めた民間事業者が確保すべきサービスの質の達成状況に対する当機構の評価は、表 1 のとおり。

表 1：サービスの質の達成状況に関する当機構の評価

評価事項	測定指標	評価
①安全要求等の作成・維持支援	民間競争入札実施要項別添 1 調達仕様書に定めた内容に沿って本業務を適切に行うこと。	計画に沿って、ロケットペイロード安全標準の海外との比較表の維持、人工衛星の運用管理（スペースデブリ発生防止、再突入安全）に係る安全要求等の作成・維持支援に関して、技術文書案の提出及び会議出席がなされ、確保されるべき質を達成している。 詳細を別表 1 に示す。
②再突入リスク評価の技術支援	同上	計画に沿って、再突入溶融解析ツールの講習会の開催、再突入溶融解析ツールのサポートデスク業務、新再突入溶融解析ツール開発に係る技術支援に関して、講習会の実施、サポートデスク業務、新ツール開発に係る技術支援の実施がなされ、確保されるべき質を達成している。 詳細を別表 2 に示す。

別表 1 ①安全要求等の作成・維持支援 支援結果

年度	要求仕様	支援結果
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・海外安全要求比較表維持 1 本 ・国内会議参加&会議資料案作成 9 回 ・国際間技術調整用資料作成 11 本 ・スペースデブリ関連データ集の更新 1 本 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外要求に対して比較が 1 本実施された。 ・国内会議参加 9 回が実施された。また、会議の資料を受領した。 ・技術資料案を 11 本受領した。 ・データ集を 1 本受領した。
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・海外安全要求比較表維持 1 本 ・国内会議参加&会議資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外要求に対して比較が 1 本実施された。 ・国内会議参加 9 回が実施された。また、会議の資料を受領した。

	案作成 9 回 ・国際間技術調整用資料作成 8 本 ・スペースデブリ関連データ集の更新 1 本	・技術資料案を 8 本受領した。 ・データ集を 1 本受領した。
--	---	-------------------------------------

別表 2 ②再突入リスク評価の技術支援 支援結果

年度	要求仕様	支援結果
令和 2 年度	・ツールの講習会開催 1 回 ・ツールのサポートデスク対応約 15 件程度	・講習会 1 回が実施された。 ・15 件相当の対応業務が実施された。
令和 3 年度	・ツールの講習会開催 1 回 ・ツールのサポートデスク対応約 36 件程度 ・新ツール開発に係る技術支援（要求仕様書、基本設計書、詳細設計書のレビュー各 1 本）	・講習会 1 回が実施された。 ・36 件相当の対応業務が実施された。 ・新ツールの要求仕様書、基本設計書、詳細設計書に係るレビュー結果を各 1 本受領した。

III. 実施経費の状況及び評価

1. 実施経費

○従来（平成 26 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

- ・契約額：324,410,000 円（税抜）
単年度平均：108,136,666 円（税抜）

（上記のうち、本契約に該当する業務の経費）

- ・契約額：94,547,124 円（税抜）
単年度平均：31,515,708 円（税抜）

○今回（令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）

- ・契約額：24,500,000 円（税抜）
単年度平均：8,166,667 円（税抜）

市場化テスト実施前の実施経費と比較した結果、契約額そのものは大幅に削減できて
いるものの、その理由は、安全評価、研修、三極会合の3契約に分割したため（従来の契
約額は安全評価、研修、三極会合を一本化した金額である）や、表2の通り実施前の業務
内容と比較して規模を縮小したためであり、契約の単価が改善したわけでは無く、市場化
テスト実施による経費削減の効果は無かった。

表2：市場化テスト実施前（平成26-28年度）と今回の業務項目比較

市場化テスト実施前(平成26-28年度)	今回
安全要求及び関連文書作成・維持支援 a.ペイロード安全審査プロセスの改善・効率化 検討 b.ペイロード安全要求の作成・維持 c.ペイロード安全要求関連文書の作成・維持 d.ペイロード安全要求の英文化 e.商業打上げに係るFAA等の調査	契約1.「安全評価に係る技術支援業務」 a.安全要求等の作成・維持支援 b.再突入リスク評価の技術支援

IV. 総合評価

確保すべき質の達成状況について、IIのとおり、令和2年度、令和3年度ともに測定
指標を達成している。実施経費については、IIIにも記載の通り、経費削減の点では効果が
なかった。また、本業務を市場化テストの終了プロセスに照らし合わせると、以下のとお
りである。

- ① 事業実施期間中に、受託民間事業者が業務改善指示等を受けたり、業務に係る法令違
反行為等を行ったりした事実はなかった。
- ② JAXAにおいて、実施状況について外部の有識者等によるチェックを受ける仕組み
（評価委員会等）を備えている。
- ③ 入札にあたっては1者応札となったため、今後の競争性の確保に当たっては、より多
くの民間事業者へ入札参加を促すなど、多くの事業者が入札に参加するよう努める。
- ④ 対象公共サービスの確保されるべき質に係る目標は達成されている。
- ⑤ 経費については、市場化テスト実施前と比較した場合、経費削減効果は無かった。

V. 今後の事業

1. 今後の競争性確保のための検討

本業務は、平成28年度まで、仕様書における仕様内容の表現の見直し、具体的追記を
逐次行っていたが、1者応札が続く状況であった。市場化テストの対象となった平成29
年～31年度の契約においても、事業の複数年化、実施要項への記載事項の具体化等対策

を行ったものの、1者応札となったところである。入札に参加した事業者が1者であった理由については「本事業が多岐に渡り、能力的、人間的な対応ができない」「業務量が多く、完遂が困難」等が考えられるため、令和2年~令和5年の契約については、安全評価業務として分割し契約を行ったが、1者入札であった。次期入札については、より多くの民間事業者へ入札参加を促すなど、多くの事業者が入札に参加するよう努める。

2. 今後の本業務の在り方について

以上のことから、改善に向けた取り組みを行っているものの、1者応札が続き改善を要するような状況となっていることから、本業務次期においても引き続き市場化テストを実施することとしたい。

以上